

第53回近畿地区国立大学体育大会（野球）実施要項

〔1〕競技会場 平成27年8月18日（火）、19日（水）、20日（木）
（予備日）21日（金）

〔2〕競技会場 ほっともっとフィールド神戸球場
（〒654-0163 神戸市須磨区緑台 TEL.078-795-5151）
予備日の会場は神戸大学六甲台第1キャンパス内運動場になります。

〔3〕競技次第

1. 開会の辞 競技委員長 8月18日（火） 9：20～
2. 競技上の注意 審判長
3. 競技日程
8月18日（火） 第一試合（一回戦） 9：30～
第二試合（一回戦） 12：00～
第三試合（一回戦） 14：30～
19日（水） 第一試合（準決勝） 10：00～
第二試合（準決勝） 13：00～
20日（木） 第一試合（3位決定戦） 10：00～
第二試合（決勝戦） 13：00～
4. 競技終了
5. 成績発表 審判長
6. 表彰 競技委員長
7. 閉会の辞 競技委員長

〔4〕大会役員

- 競技委員長 永合 位行（神戸大学）
専門委員 来田 宣幸（京都工芸繊維大学）
総務委員 村本 定則（神戸大学）
高岡 利昌（神戸大学）
山本 幸夫（神戸大学）
藤本 一光（神戸大学）

〔5〕競技役員

- 審判長 近畿学生野球連盟審判員
審判員 近畿学生野球連盟審判員 学生野球審判員

〔6〕学生役員

- 学生委員 卜部 翔吾 藤原 啓太 野口 英佑
記録・放送 池田 恵美 片桐 輝美 後藤 優里 洲寄 陽歌 槇原 史乃
(神戸大学)

〔7〕実 施 要 項

1. 参加申込 締切期日 平成27年6月10日（水）必着
 - (1) 申込先・・・〒650-0017 神戸市灘区鶴甲1-2-1
大会事務局：神戸大学学務部学生支援課 生活支援グループ課外担当
(TEL:078-803-5224 FAX:078-803-5209
e-mail:stdnt-kagai@office.kobe-u.ac.jp)
 - (2) 参加資格
 - (ア) 本大会規程第13条適用
 - (イ) 選手は医師の診断により大会参加が適当と認められた者で、当該大学長の承認のある者に限る。
 - (ウ) 参加申込者以外の出場は認められない。
 - (3) 参加人数
 - (ア) 1大学1チームとし、1チーム50名以内とする。
 - (イ) 野球及び軟式野球の両種目にわたり参加申込みをすることはできない。
 - (4) 申込方法・・・所定の依頼方法（参加申込み）により提出すること。
2. 競技方法等
 - (1) 試合方法・・・トーナメント形式とし、3位決定戦を行う。
 - (2) 試合規則・・・現行の公認野球規則による。ただし、指名打者制で行う。なお、別に定める大会特別規約も適用する。
 - (3) 審 判・・・近畿学生野球連盟に委嘱する。
 - (4) 使 用 球・・・（財）全日本大学野球連盟公認球
3. シード・・・第52回大会の1位、2位をシード校とする。
4. 表 彰・・・3位までとする。
5. そ の 他
棄権する場合は、試合開始の前日（前日が日曜日の場合は3日前）正午までに大会事務局及び相手校に連絡すること。

特 別 規 約

1. 使用用具は全日本大学野球連盟「大学野球の用具に関する規定（平成 23 年 7 月 1 日）」を適用する。
ただし、同規定に関する「各項目についての注意事項（平成 25 年 2 月 13 日通達）」を併せて適用する。
2. 使用球は、本部が供給し、審判員に渡す。審判員は、単独で適否を判断する。
3. 競技委員長は、試合担当の審判員及び他の役員の意見を徴して、天候及びグラウンド状態の適否をしん酌し、試合を挙行するか否かを決定する。この決定は他の競技種目とは関係なく単独で行う。
4. グラウンドルール等は、試合前に球審から提示する。
5. 試合中プレイヤーのベンチに着席できる人員は、部長・監督・マネージャー各 1 名及びコーチ 2 名と、自チームのユニホームを着用したプレイヤー 25 名以内とする。自チームと異なるユニホーム、背番号その他正規でないユニホームの着用者は、ベンチに入ることができない。
6. 両チームの主将又はマネージャーは、自チームの打順と守備位置及び背番号を記入したカード正副 4 通を、第 1 試合は試合開始予定時刻の 40 分前までに、第 2 試合以降は前試合の 5 回終了までに、本部に提出する。
7. 5 回終了以後 10 点差、7 回終了後以後 7 点差を生じた場合は、試合を決定しコールドゲームとする。ただし、決勝戦のコールドゲームは行わない。
8. 9 回を終えて同点の場合はタイブレークとし、10 回から 1 死満塁の設定で始める。打者は任意の打順とし、監督は 10 回の延長に入る前に、監督から球審に希望する打順を告げることとする。一塁走者は当該打者の前位の打順の者、二塁走者は一塁走者の前位の打順の者、三塁走者は二塁走者の前位の打順の者とする。11 回以降は 10 回からの打順の者とし、10 回同様の方式で走者をおく。ただし、決勝戦および 3 位決定戦はこの規定を 12 回終了時（13 回から）に適用する。タイブレーク時に代走、代打は認めるが交代した選手は通常イニングと同様再度フィールドに立つことはできない。また、投手、打者、走者等の記録は全日本学生野球大会の記録規則を適用する。
9. 審判員が打ち切りを命じた場合、正式試合となるに足りる規定の回数を変更し、7 回とする。
10. サスペンデッドゲームの規定を準用する。
11. 審判員の判断に基づく裁定については、いかなる抗議もゆるされない。

競 技 注 意 事 項

1. プレイヤーのベンチは、組合せ番号の若いチームを一塁側、後攻めとする。
2. グラウンド内でのフリーバッティングは行えない。ただし、相手チームの守備練習の妨げにならない範囲で行うトスバッティングは差し支えない。
3. 試合前の守備練習は、7 分以内とする。ただし、天候、グラウンドの状態及び延長戦などにより試合開始時間に大幅な遅れがある場合はとりやめることもある。
4. 小雨の場合は、グラウンド・コンディション、天候状態等の許す限り試合を強行するよう努める。
5. 天候の状態によっては、予定の試合を全部行わない場合や、午前中は見合わせて午後から開始する場合もある。
6. 日程変更は、本部が発表する。各チームの代表者は、常に本部との連絡を保たれたい。
7. 棄権する場合は、試合開始の前日（前日が日曜日の場合は 3 日前）正午までに大会事務局及び相手校に連絡すること。
8. 全参加チームによる開会式、閉会式は行わない。
9. ボールボーイは試合をする各チームから 2 名ずつ出すこと。

総合優勝制度得点

1位－10点、2位－7点、3位－5点、4位－4点
ただし、同順位の場合は、下位順位の得点との合計を平均する。